

平成24年第1回定例会（6月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

平成24年6月22日

農 林 水 産 部

目 次

1	平成23年決算特別委員会において「検討する」旨 答弁した事項の検討状況について〔農林水産部〕	1
2	農林水産業及び農山漁村に関する年次報告について〔農林政策課〕	2
3	果樹の結実状況について〔園芸振興課〕	4
4	モミガラ補助暗渠の実施状況について〔農地整備課〕	5

1 平成23年決算特別委員会において「検討する」旨 答弁した事項の検討状況について

農林水産部

「検討する」旨の答弁を行った事項	その後の検討状況
林業・木材産業改善資金特別会計について、関係団体に対し資金利用の意向の聞き取りを行い、適正な資金規模を検討する。 (農林政策課団体指導室)	平成23年11月に資金利用意向調査を実施し、55法人から平成24～28年に同資金の利用を希望するとの回答が得られた。 平成24年度は、当該55法人に県単補助事業実施7法人を加えた62法人に対して、機械設備の更新需要や新規設備投資額等の詳細なアンケート調査を行い、精度の高い需要額を把握した上で、適正な資金規模を見極めることとしている。
漁業後継者育成制度（Aターン漁業者育成事業）において、3親等以内の親族が研修の対象外となっていることについて、制度の改正を検討する。 (水産漁港課)	Aターン漁業者育成事業において、雇用契約関係を公的に証明できる場合、3親等以内での研修が可能となるよう事業の取扱い方針を改正し、平成24年4月1日付けで施行した。 併せて、原則40歳未満としていた年齢制限も廃止した。

2 農林水産業及び農山漁村に関する年次報告について

農林政策課

平成15年3月に制定された「秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例」に基づき、平成23年度の農林水産業及び農山漁村の動向並びにその振興に関し、県が講じた施策を報告する。

秋田の農林水産業と農山漁村を元気づける条例 (年次報告)

第8条 知事は、毎年、農林水産業及び農山漁村の動向並びに農林水産業及び農山漁村の振興に関し県が講じた施策を明らかにする報告書を作成し、県議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 農林水産業及び農山漁村の動向（第1部）

(1) 概要

ア 農業分野

- ・ 平成22年の農業産出額は1,494億円（全国20位、東北6位）で、前年より239億円減少した。
- ・ 部門別では、米が785億円で前年より234億円の大幅減少（作況指数93）、野菜は249億円で前年並み、畜産は305億円で前年より9億円の増加となった。
- ・ 平成23年度末現在の認定農業者数は9,666経営体で、前年より456経営体減少したが、平成23年9月1日現在の農業法人数は452法人で、前年より8法人増加した。

イ 林業分野

- ・ 平成22年の素材生産量は940千m³で、前年より152千m³増加した。樹種別にみると、スギが799千m³で、全体の約85%を占めている。
- ・ 平成22年の木材・木製品の製造品出荷額は、前年より36億円増加の633億円で、県全体の製造品出荷額の4.8%となっている。
- ・ 平成22年度の林業従事者は1,748人で、前年より16人減少したものの、新規参入者は増加傾向にあり、138人を確保した。

ウ 水産業分野

- ・ 平成22年の海面漁業・養殖業生産量は9,533トンで、前年より1,959トン減少と低調であった。
- ・ 平成22年の海面漁業生産額は、魚価の低迷等により、前年より5億円減少の36億円であった。

エ 農山漁村分野

- ・ 平成23年度の直売組織の販売総額は47.2億円で、全167カ所のうち17カ所で販売額1億円を超えており、地域活性化の拠点の一つとなっている。
- ・ 平成23年度の農地等の保全活動取組面積は63,315ha（707組織）で、県内農振農用地面積の約42%を占めている。

(2) トピックス（特徴的な動きを掲載）

ア 共通

- ・ 東日本大震災における支援
- ・ 県産農産物等の放射性物質検査
- ・ 農林漁業振興臨時対策基金事業の進捗状況

イ 農業分野

- ・ 本県オリジナル園芸新品種の紹介
- ・ 新規就農総合対策事業による取組
- ・ 学校給食への地場産農産物の活用
- ・ グリーン・ツーリズムに関する動き
- ・ カドミウム新基準
- ・ 果樹産地の雪害復旧
- ・ リンドウ・ダリアの全国ブランド化に向けた取組
- ・ えだまめ日本一を目指した取組
- ・ 秋田牛全国チャンピオン獲得事業
- ・ モミガラ補助暗渠の取組

ウ 水産業分野

- ・ 県産ワカメの生産拡大への取組
- ・ クニマスのにしきりに向けた西湖での生態調査

エ 林業分野

- ・ 秋田スギ大規模製材工場
- ・ 広葉樹資源活用フロンティア事業
- ・ 2011国際森林年

2 農林水産業及び農山漁村の振興に関し県が講じた施策（第2部）

農林水産業及び農山漁村の振興に関し、県が平成23年度に講じた施策をふるさと秋田農林水産ビジョンの施策体系に従い掲載。

3 果樹の結実状況について

園芸振興課

1 結実の状況

- りんごについては、花芽分化^{はなめぶんか}は良好であったが、4月中旬まで低温で推移し、5月初めに高温となったことから、生育が急激に進み、充実の悪い花が多く見られた。
- 特に、「ふじ」については、県南部を中心に開花期間である5月8日以降に低温・雨天の日が多く、蜂などの訪花昆虫^{ほうかこんちゅう}の活動が悪かったことから結実が不良となった。
- 日本なしの「幸水」についても、開花期間の5月3日以降に降雨が続き、人工受粉作業が適期に実施できなかったことから結実が不良となった。
- こうしたことから、りんごと日本なしについては、今後の収穫量の減少や品質の低下が懸念される。

県内主要産地の結実数（1果そうあたり）

（5月25日調査）

	H24	平 年	備 考
りんご（ふじ）	2.0	3.4	平年比59% 平鹿地区
日本なし（幸水）	2.5	2.9	平年比86% 中央地区

※1果そう：1つの芽から出た数個の果実の集まり

2 今後の対応

- りんごと日本なしについて、収穫量を確保し、高品質な果実を生産するため、6月5日付けで、果樹協会やJA、市町村に対して、以下の事項を中心に指導を徹底するよう通知しており、引き続き、生育状況等を注視し、きめ細かな技術指導を行う。
- ・ 果実の粗摘果^{あらてきか}については、果実の肥大状況を見極めて早期に行い、着果量の確保に努める。
 - ・ 着果量の少ない樹は、樹勢が強まり不要な新梢が多くなることが懸念されるため、施肥量を減らすなどの栽培管理を行う。
 - ・ 着果させた果実の商品化率を高めるため、果形や肥大が良好で、つるが太いなど果実の状態を確認しながら、仕上げの摘果を行う。

4 モミガラ補助暗渠の実施状況について

農地整備課

戦略作物の収量や品質の大幅な向上を図り、高収益農業を実現するため、平成23年度から、モミガラ補助暗渠による水田の排水強化対策を実施している。

今年度は、モミガラの早期確保に向けた取組や事業の普及啓発等を重点に推進している。

1 事業実施状況

(1) 平成23年度

目 標 : 2, 0 0 0 ha
実 績 : 1, 2 7 1 ha (達成率64%)

(2) 平成24年度

目 標 : 2, 0 0 0 ha

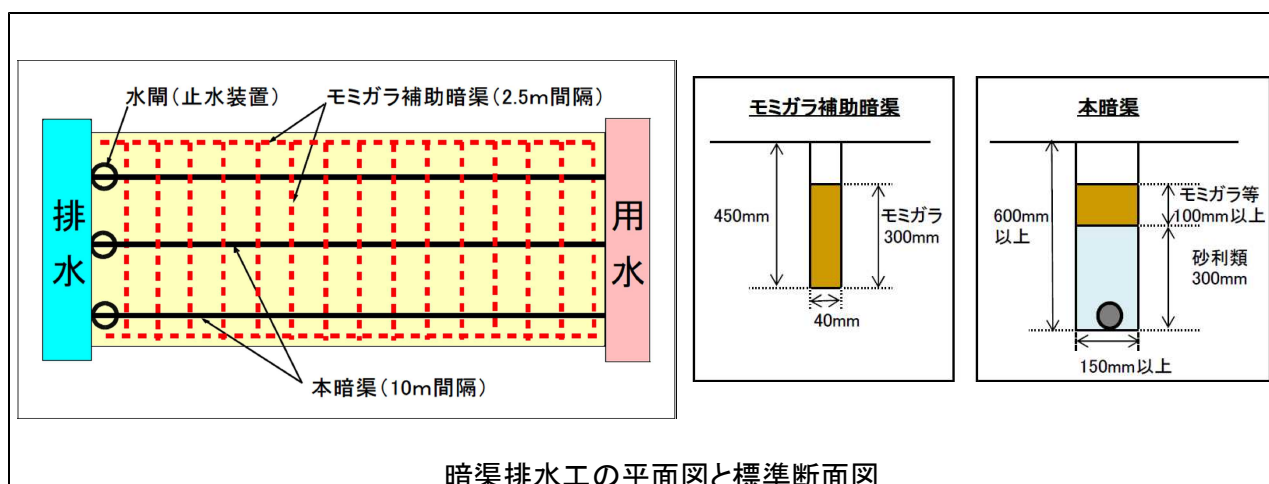
2 今後の対応

(1) モミガラの確保

- 平成24年度は、モミガラ補助暗渠のほか、本暗渠を5,700ha施工の予定で、合計で約3万トンのモミガラが必要になると見込んでおり、その確保が課題である。
(県内の年間モミガラ産出量13万トン、うち利用可能量6万トン)
- このため、市町村や土地改良区等と連携し、カンントリーエレベーターやライスセンターと調整するとともに、農業法人等に提供を依頼する。

(2) モミガラ補助暗渠の普及啓発

- 平成23年度にモミガラ補助暗渠を実施したほ場では、ほとんどの作物で収量、品質とも大幅に向上した。
- 平成24年度も、引き続き地域振興局農林部の躍進プラン推進チームが中心となって効果検証を行うとともに、市町村やJA等と連携し、モデルほ場での現地研修会等を通じて、農家への普及啓発ときめ細かな営農指導に努める。



【 参 考 】

モミガラ補助暗渠の効果（H23 検証結果）

1 収量・品質の比較

項 目	作 物		施工区	未施工区	比較	市町村
収 量	枝 豆		510kg/10a	350kg/10a	約1.5倍	鹿角市
	大 豆		※ 244kg/10a	152kg/10a	約1.6倍	能代市
	キュウリ		11,000kg/10a	8,000kg/10a	約1.4倍	北秋田市
	カボチャ		1,220kg/10a	870kg/10a	約1.4倍	井川町
品 質	枝豆	2粒以上	90.1%	86.2%	+3.9%	鹿角市
		クズ等	3.2%	6.9%	▲3.7%	鹿角市
	大豆	1,2等級	※ 95%	60%	+35%	三種町
		中 粒	61.4%	47.3%	+14.1%	三種町

（試算）

※大豆の戸別所得補償35,000円/10a+11,310円/60kg×244kg/10a=80,994円/10a

2 排水効果・生育状況の比較

場所：にかほ市

作物：大豆（リュウホウ）



- ・6月下旬（播種から約1ヵ月）
- ・降雨後、未施工区は広範囲で湛水
- ・施工区の排水は良好



- ・8月上旬
- ・未施工区の生育にムラ

場所：能代市

作物：大豆（リュウホウ）



- ・施工区の主茎は太く、サヤ数が多い



- ・施工区の根は長く、根粒が多い